

平成23年度事業計画

(平成23年4月1日ー平成24年3月31日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第58回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会期：平成23年5月25日(水)～27日(金)
会場：タワーホール船堀
会長：米川博通((財)東京都医学総合研究所)
参加者：約1,000名を予定

II. 通常総会、理事会、評議員会の開催

通常総会(1回)、理事会(2回)、評議員会(1回)を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に配布(60巻5号より希望配布)する。

発行年月日	巻	号	備考
平成23年4月1日	60	2	一部収益事業
平成23年5月1日	60	3(サプリメント号)	電子配信のみ
平成23年7月1日	60	4	一部収益事業
平成23年10月1日	60	5	〃
平成24年1月1日	61	1	〃

IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 第23回学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞(1名)

玉置憲一(実験動物中央研究所)

2) 奨励賞(2名)

本多 新(理化学研究所バイオリソースセンター)

「実験動物の新規幹細胞の樹立技術と利用法の開発」

高林秀次(浜松医科大学)

「クローズドコロニーICR系統からの自然発症変異マウスの開発研究」

3) 2010年 Experimental Animals 最優秀論文賞

石飛博之、松本 健、浅見拓哉、伊東史子、伊東 進、高橋 智、依馬正次

「*Fli1*-GFP BAC トランスジェニックマウス：血管発生研究のための動物モデル」

(2) 2010年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

受賞者(5名)

中国 : Bai Yu

韓国 : Sung-Dae Cho

台湾 : Chin-Yu Lin

タイ : Chadamas Promkum

インド : Rahul Anandrao Thorat

(3) 第24回日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2011年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2011年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

V. 役員(平成24~25年度在任)の改選にかかわる諸事業

(1) 会員名簿を作成する。

(2) 理事候補者を選出する。

VI. 委員会等の活動

委員会、ワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報委員会
- f. 疾患モデル委員会
- g. 動物福祉・倫理委員会
- h. 定款・細則・規程等検討委員会
- i. 実験動物感染症対策委員会
- j. 教育研修委員会
- k. 動物アレルギー検討ワーキンググループ
- l. 新公益法人化検討ワーキンググループ
- m. 実験動物調査ワーキンググループ
- n. 産業技術問題検討ワーキンググループ

VII. 関連学協会との連携

(1) 日本学術会議の活動に協力する。

(2) 社団法人日本実験動物協会、日本実験動物技術者協会、日本実験動物環境研究会お

よびその他の国内外関連学会・協会の活動に協力する。

- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) における活動を継続する。
- (4) アジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続する。
- (5) 米国実験動物学会 (AALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (6) 国立大学法人動物実験施設協議会、公私立大学実験動物施設協議会等の活動に協力する。
- (7) 財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターの活動に協力する。

VIII. 新公益法人化

公益社団法人への移行申請を進める。

IX. その他

- (1) 平成 23 年度維持会員懇談会を実施する。(財務特別委員会)
- (2) 第 4 回疾患モデルシンポジウムを開催する。(疾患モデル委員会)
「がん研究のモデル動物」
平成 23 年 11 月 11 日、がん研究会がん研究所・吉田富三記念館
- (3) LAS セミナー等を開催する。(教育研修委員会)
- (4) 動物の福祉および動物実験に関する法令対応セミナーを開催する。(動物福祉・倫理委員会／産業技術問題検討ワーキンググループ)